

患者ID:@PATIENTID

2010.6.25作成

@PATIENTNAME 様 大腸化療(ベクティビックス+mFOLFOX6)

2022.5.12改訂

指示者	@USERNAME
コース数	

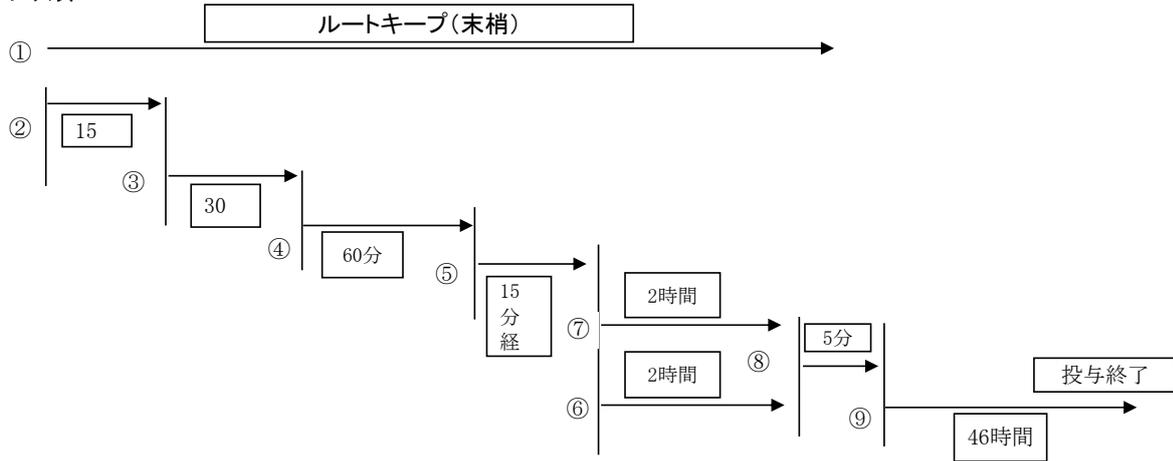
身長	HEIGHT01_Dc	cm
体重	WHEIGHT01_D	kg
体表面積	#VALUE!	m ²

(DuBoisの式)

実施印

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	
①	生理食塩液 500mL	ルートキープ	点滴(末梢) 初回のみ	初回のみ
②	ポラミン注 生食50mL	15分	点滴 初回のみ	初回のみ
③	グラニセロンバッグ デカドロン3.3mg 2A プリンペラン1A	30分	点滴	
④	ベクティビックス 6mg/kg 生食100mL ()mg/body #VALUE! 計算値	60分	点滴	フィルター使用
⑤	生食50ml	15分	点滴	
⑥	エルプラット85mg/m ² 5%糖液250mL ()mg/body #VALUE! 計算値	120分	点滴	
⑦	レボホリナート 200mg/m ² 5%糖液100mL ()mg/body #VALUE! 計算値	120分	点滴	
⑧	5FU 400mg/m ² ()mg/body #VALUE! 計算値	5分	点滴	
⑨	5FU 2400mg/m ² +生食を加え全量を230mL (処方生食500mL) ()mg/body #VALUE! 計算値	46時間 インフューザー ポンプで	点滴	

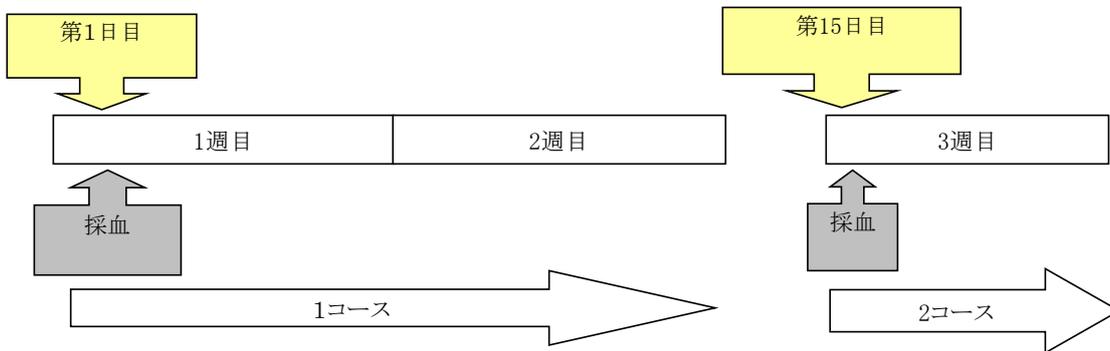
投与手順



注意

インフュージョンリアクション発現時の対応のため、初回のみ末梢ルートを確認する。
 ベクティビックスは生食以外との配合はできない。⑤の生食はルート内フラッシュ及び経過観察目的で行う。
 5%糖液以外でエルブラットは分解されやすい。

スケジュール



副作用発現

<ベクティビックス単剤>

ざ瘡 65%	低Mg血症 28%	下痢 15%
皮膚乾燥 60%	疲労 26%	嘔吐 15%
発疹 55%	口内炎 25%	紅斑 13%
掻痒 42%	食欲不振 20%	
爪周囲炎 35%		

< mFOLFOX6 >

末梢神経症状 82% (機能障害に至ったもの19%)
 投与を重ねるごとに増していく。
 白血球、好中球減少 85%
 下痢56%、悪心71%、脱毛38%、疲労70%、口内炎38%

臨床試験成績(国内第2相試験:20050216試験)

*追跡期間中央値26.1週(5.4-42.0週)

奏効率 13.5%
 奏効期間 16.2週
 PFS 8.0週
 OS 9.3月

< mFOLFOX6 >

TREE1試験
 1stlineで奏効率43%
 MST19.2ヶ月